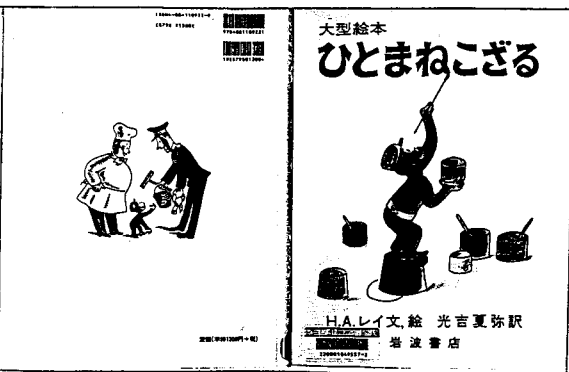


子どもたちといっしょに「ひとまねこざる」シリーズ

この「ひとまねこざる」シリーズの絵本ほど、子どもたちの共感をうむものはありません。だって、子どもたちがやりたくてやりたくて、ウズウズしている「いたずら」を、おぼろのじよーじが、つぎうぎにやってくれるのです。子どもたちといっしょに本を開いていくと、子どもたちは身をのりだして、つかり、じよーじになりきってしまいます。

おたけでも、フワフワ笑いだしてしまいます。このほか「たごやあげるひとまねこざる」「ひとまねこざるときいっしょいぼうし」「びてんしやのひとまねこざる」「ひとまねこざるがやいんいん」「うけつこざる」また、H.A.レイの他の絵本もたくさんあります。ご利用ください。



しろね図書館だより

発行 白根市立図書館
平成12年11月1日
No. 6

ご利用ありがとうございます。月並みな言葉ですが、まさに「読書の秋」がやってきました。一日の仕事や勉強が終って、おやすみまでのひととき、ゆくり本を読むのは、楽しいことだと思います。意外と、この楽しい時を、まだ知らない方もいらっしゃるようです。一度おためしく下さい。「本」は、自分の知らなかった世界や知識を知ることができるし、違う世界を本の中で体験できるのです。10月27日から11月9日までの2週間、特に「読書週間」と定められています。本についてのリクエストや、相談などありましたら、どんな事でも、職員にお尋ねください。

11月の行事		ブックバス運行		
1 (水)	絵本のじかん 3:00~3:30	浅草橋小 2:30~3:15	16 (木)	浅草橋小 3:00~3:45
2 (木)		新倉田小 3:45~4:40	17 (金)	左瀬中 4:10~4:40
4 (土)	おはなし講習会 10:30~11:30	左瀬小 3:00~3:45	18 (土)	おはなし講習会 10:30~11:30
8 (水)	絵本のじかん 3:00~3:30	左瀬中 4:10~4:40	19 (日)	おはなし講習会 10:30~11:30
9 (木)		大通小 2:45~3:30	22 (水)	絵本のじかん 3:00~3:30
10 (金)		大塚小 2:45~3:30	24 (金)	絵本のじかん 3:00~3:30
11 (土)	おはなし講習会 10:30~11:30	榎原小 4:15~4:45	25 (土)	おはなし講習会 10:30~11:30
12 (日)	読書会 11:30~	小林小 2:45~3:30	29 (水)	絵本のじかん 3:00~3:30
15 (水)	絵本のじかん 3:00~3:30	白根小 3:45~4:30		

おたけも子どもも楽しい手づくり絵本の会

第2回 おはなし講習会

日時 11月19日(日) 午前10:00~午後3:00(弁当持参)

場所 創作室2 (別棟)

対象 3歳以上 おたけ迄

申し込み 図書館に電話

TEL 375-5510

先着30名

申し込み 直接 図書館へ

参加費 無料

持ちこる物 せんいっ、糸、色せんいっ(クレヨン、パステルは×)

申し込み 直接 図書館へ

参加される方は、図書館カウンターまで申し出て下さい。本を貸し出しします。しろね図書館 共催

毎月情報!!

「ラスベック7生涯学習フェスティバル」の期間中、次の日を、図書館では、毎週別に、8:00迄、開館延長します。(午後)

ご利用ください。

11月17日(金) 11月22日(水)

18日(土) 24日(金)

19日(日) 25日(土)

21日(火) 26日(日)

(定例の月曜と祝日休館日以外の日)

利用者の方々からいただいた「本と読書」についてのコメント。11月かでしたか。うんうんおもしろ。おは、この本が女子だけけど。など、思われたことでしよう。

120字以内で、「本と読書」についてお寄せください。図書館でより紹介していきたいと思っております。

灯火親しむ秋の夜長、読書三昧でお過ごされますよう。

10月の

来館者 ----- 11,962 人 (見学者144人を含む)

貸出冊数 ----- 12,456 冊

予約件数 ----- 237 件

ブックバス利用者 ----- 394 人

貸出冊数 ----- 1,179 冊

リクエスト情報

3位: 川口ホムタヒ 賢者の石(6人)

1位: だからあなたも 命(6人)

生かぬい(12人)

2位: ハトホムタヒと ああ泣きぼろ

秘密の部屋(10人) 嫁行く(6人)

他. にお待たせしております

初中級者のためのしっかり身につくパソコン
図書館学基礎資料
レイキで変わった私の心とからだ
生きてます、15歳。
歳月
ある徴兵拒否者の歩み
花森安治の編集室
ラストエンペラー夫人婉容
地球の歩き方
子どもとでかける新潟あそび場ガイド
るるぶタイ
アイルランドへ行きたい
新ゴーマニズム宣言 SPECIAL 台湾論
中国の熱風
黙れ! アメリカ人
日本をダメにする10人の政治家
経済白書
国際協力事業団年報
15歳のCEO
対人関係力の伸ばし方
防災白書
子ども白書
高齢社会白書
日本の防衛
上手な死に方
自然医学で糖尿病は治る
自然医学で糖尿病は治る
アレルギーの薬がわかる本
ガンと闘う!
近視をレーザーで治す
病院ランキング
厚生白書
おどぎの国の病院たち
やせたかったらやせるフルーツを飲みなさい
科学技術白書
原子力安全白書
ニフティサーブアクセスガイド
ポケット・ワイン・ブック
ハーブの香るTea Time
健康食コンプ・ノリ
作物の生育と環境
広島発ケナフ事典
To the bar
私の広告術
イタリア・ルネサンスの巨匠たち
風のフリュート
「君が代」を歌いますか?
歌舞伎
高麗屋の女房
ウィダー・フィットネス・バイブル
おなべとやかんとふらいばんのけんか
あひるのびいびいとひよこのびっぴ
ふうせんふわふわ
あそびまじよ
ひよことあひるのこ
むしばくん だいすき?
くまたくんの おるすばん
ほねほね
おばけのパーパパ
おへそに きいてごらん
すっきり うんち

69

00~01

平成12年版
2000

平成12年版
2000年版
平成12年版
平成12年版

平成12年版

平成12年版
平成11年版

1995-96年度版

7

アスキーパソコン委員会編
今まど子編著
創工能力開発研究所編
井上 美由紀著
尾崎 秀樹著
北御門 二郎著
唐沢 平吉著
池内 昭一著
『地球の歩き方』編集室編
新潟コマエ隊著

深谷 哲夫(ほか)著
小林 よしのり著
本沢 二郎著
佐藤 淳一著
上田 哲著
経済企画庁編
国際協力事業団編著
キャメロン・ジョンソン著
北林 才知著
国土庁編
日本子どもを守る会編
総務庁編

ニコラス オールバリー(ほか)
自然医学友の会編著
自然医学友の会編著
アレルギーの薬がわかる本
ガンと闘う!
近視をレーザーで治す
病院ランキング
厚生白書
おどぎの国の病院たち
やせたかったらやせるフルーツを飲みなさい
科学技術白書
原子力安全白書
ニフティサーブアクセスガイド
ポケット・ワイン・ブック
ハーブの香るTea Time
健康食コンプ・ノリ
作物の生育と環境
広島発ケナフ事典
To the bar
私の広告術
イタリア・ルネサンスの巨匠たち
風のフリュート
「君が代」を歌いますか?
歌舞伎
高麗屋の女房
ウィダー・フィットネス・バイブル
おなべとやかんとふらいばんのけんか
あひるのびいびいとひよこのびっぴ
ふうせんふわふわ
あそびまじよ
ひよことあひるのこ
むしばくん だいすき?
くまたくんの おるすばん
ほねほね
おばけのパーパパ
おへそに きいてごらん
すっきり うんち

ヒュー ジョンソン著
石毛 真理子著
奥本 光魚著
西尾 道徳(ほか)著
木崎 秀樹編
成田 一徹切絵文
広告批評編

藤原 新也著
山岸 秀著

藤間 紀子著

村山 舞子原作
ステューエフ原作
堀尾 青史作
八木田 宜子作
ミラ キンズバーグぶん
七尾 純さく
わたなべ しげおさく
さとう まもる文と文
アネット=チソンさく
七尾 純さく
七尾 純さく

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

アスキー
樹村房
オーエス出版
ポプラ社
学陽書房
地の塩書房
晶文社
毎日新聞社
ダイオモンド・ビッグ社
メイ出版
JTB出版事業局
新潮社
小学館
データハウス
データハウス
データハウス
大蔵省印刷局
国際協力出版会
PHP研究所
日経連出版部
大蔵省印刷局
草土文化
大蔵省印刷局
防衛庁
二見書房
ロングセラーズ
ロングセラーズ
農山漁村文化協会
冬青社
旭書房
データハウス
ぎょうせい
データハウス
ガイア出版
大蔵省印刷局
大蔵省印刷局
ニフティ
早川書房
じゃこめてい出版
農山漁村文化協会
農山漁村文化協会
創森社
成星出版
マドラ出版
東京書籍
集英社
早稲田出版
ナガセ
毎日新聞社
森永製菓株式会社健康事業部森永

鈴木 民治さん
戦後の極端に物資の不足を来した時代に少年期を過ごした。読書欲を満たす為熱心にいろいろ取りもて得た幾許かのお金を握りしめて四キロの道を歩き本屋へと急いだ。一冊の本をふところに足取りも軽く家路へ急いだ。幼き日のなつかしい思い出の一つである。

須田 英子さん
今 日本史が面白い。今まで、常識と思われていたことを、どんな覆す事実が発見されている。いろいろな遺跡が発掘されて、縄文時代が、従来の想像を上回る。豊かで、多様性に富んだものであることとか、出雲大社「巨大神殿」の謎とか、いろいろ楽しい。

加藤 朋子さん
小さな頃から本が好きで、読んでもらった私も、読んでくれた父も絵本を丸暗記してしまうほどだったそうです。小学生の頃から行き始めた図書館は私にとって宝の山。時間も忘れて読みふけりましたが、今では読書量もだいぶ減りましたが、読書は一生の趣味として続けていきたいと思っています。

私と読書
笹川 博人さん
笑いたくなったら、本をお読みなさい。本は笑いのびっくり箱だから。悲しみに打ちひしがれたら、本をお読みなさい。本は悲しみを和らげるお医者さんだから。絶望したら、本をお読みなさい。本は希望の泉だから。私が本のページを閉じるのは、死を迎える時。

久保 佐和子さん
「読書」まじめに考えて、国語辞典で引いてみると、「書物をよむこと」と書いてありました。子供の頃から、読書が好きで、よく図書館から本を借りていました。本で読んだことは、テレビで見たことより、心の中に深く残ります。今は、読書イコール先生の様な存在です。

田澤 一明さん
私が本を読むのは二つの場合。必要に迫られた時とそうでない時。無論後者の方が楽しい。そしてその多くは寝床の中。いつからか本なしでは寝れなくなった。それは子供の頃、祖母や母から昔話を聞いて寝ていたからかもしれない。夜は人を別の世界にいざない易いようだ。時々、布団の中で子供に本を読む。いつの間にか子供は寝息をたてている。今夜はどんな世界で遊んでいるのだろうか。

高橋 イツさん
高校生のときに読んだ「生きがいについて」(神谷美恵子著)に感動して看護の道を選ぶ。その後幸運にも、俳人に巡り合い、紹介された辻邦生、小川国夫などの本にも接することができた。図書館も立派になって、これからも通い続け、読書を楽しみたい。

宮本 奈々子さん
物語の中に登場する食べ物ってどうしてあんなに美味しそうなのでしょう? 今までの一番は、今村葦子著「良夫とかな子」の中でおばあさんが作る素敵なおやつ。面白い本と、美味しいご飯、私にとってこの二つは切り離せない大切なものなのです。

